堀川

まかせて！ なごやのまちづくり
社団法人 名古屋建設業協会
http://www.meikenkyou.or.jp/

はじめに

ー防災に果す役割と課題ー

名古屋市民に馴染みの深い堀川。でもその堀川が防災面でも市民の役に立っていることは意外と知られていません。

私たち社団法人名古屋建設業協会は、日頃から市民の安心・安全の担い手としての使命を果してきました。そこで私たちは、見落とされがちな『堀川が名古屋の防災上に果たす役割』について調べてみました。

すると「堀川」は、流域に降った雨を集めて流し、私たちが暮らす「まち」を洪水や浸水から守るという「川本来の重要な役割」を担っていることがわかりました。

一方、それが「堀川」の水環境を悪化させている大きな要因であることも改めて知ることができました。

頼もしい防災上の役割を果しつつ、「堀川」をどう再生させていくのか―。

未来に向かって私たちが取り組むべき堀川の新たな課題が見えてきました。

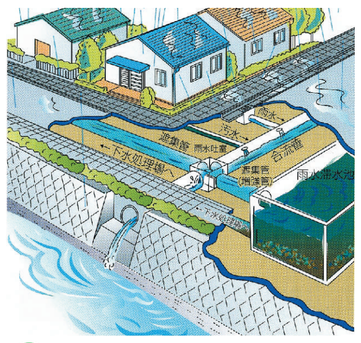
私たちの紹介

私たち社団法人名古屋建設業協会（名建協）は、名古屋市内に本社を置くおよそ230社の建設会社の集まりです。名建協では地震・台風あるいは異常気象に起因すると危惧される集中豪雨や大雪などの自然災害に対して、防災・減災という視点から地域に密着した私たちがどのような貢献ができるかについて、一昨年からさまざまな活動を始めました。

堀川についても同様に、防災・減災という切り口で「堀川1000人調査隊2005」自由プログラムに取り組みました。

きれいで、頼りになる堀川をめざして

堀川の現在



1 雨水滞水池建設現場

3 松重閘門

2 金城橋の下水流入口

2 城北橋の下水流入口

1. 合流式下水道からの雨水流入

汚水と雨水を同じ管で運ぶ「合流式下水道」のエリアである「堀川流域」では、晴れた日は、全ての汚水が下水処理場に送られて処理されています。また、雨の日でも一定量の雨水は汚水と一緒に下水処理場へ送られ処理されます。しかし、一定量を超えた雨水は汚水と一緒に雨水吐室（うすいばきしつ）や雨水ポンプ所から直接河川へと放流されます。

2. 雨水ポンプ所からの強制排水

市内の低平地では、雨水を河川に自然排水できないため、雨水ポンプ所を設け強制的に雨水を排除しています。

雨水ポンプ所では、雨水といっしょに流れてきた砂などを沈砂池で沈め、大きなごみをスクリーンで取り除いた後、ポンプ井（せい）から雨水ポンプにより強制排除しています。

4 白鳥ポンプ場

5 中嶋ポンプ場

3. 堀川口防潮水門・排水機場

昭和34年9月26～27日の伊勢湾台風の高潮により甚大な被害を受けた堀川流域では伊勢湾等高潮対策事業として、市街地への高潮の侵入を防ぐ目的で、堀川河口に防潮水門を設置。水門閉鎖時にはポンプにより海へ排水します。

7 堀川口防潮水門

6 堀川口排水機場

堀川の過去

堀川は慶長15年（1610年）名古屋城築城の際、福島正則の手により開削されました。寛文3年（1663年）には、庄内川を水源として名古屋城の外堀に水をひく御用水が完成し、堀川と庄内川がつながりました。

明和4年（1767年）大雨の浸水対策のために、天明4年（1784年）大幸川の下流側流路を変えて堀川へつなぎましだ。明治9年（1876年）には舟運及び農業用水取水のために水分橋で庄内川と分岐し矢田川の下を伏せ越しする形に大幸川の上流側流路を変え、以後『黒川』と呼ぶようになりました。

昭和34年（1959年）9月26日台風15号（伊勢湾台風）は、暴風雨とともに大きな高潮被害をもたらしました。道徳町方面は、堀川に沿う木場町の貯木場を高潮が越え、山崎川右岸が数箇所延長約200mにわたり破堤、浸水しました。名港通・東海通方面は、高潮が築港や堀川沿いの埋立地や堤防を越えて進入したため、水勢は強くありませんでしたが、浸水は広範囲に及びました。昭和36年7月から高潮対策事業として堀川口に防潮水門を築造し、39年8月に完成しました。

平成12年（2000年）9月11日名古屋市で日降水量428mmを記録した東海豪雨は新川などに被害をもたらしましたが、堀川は干潮であったため流域の排水に対して治水面で有効に機能しました。

堀川花盛り

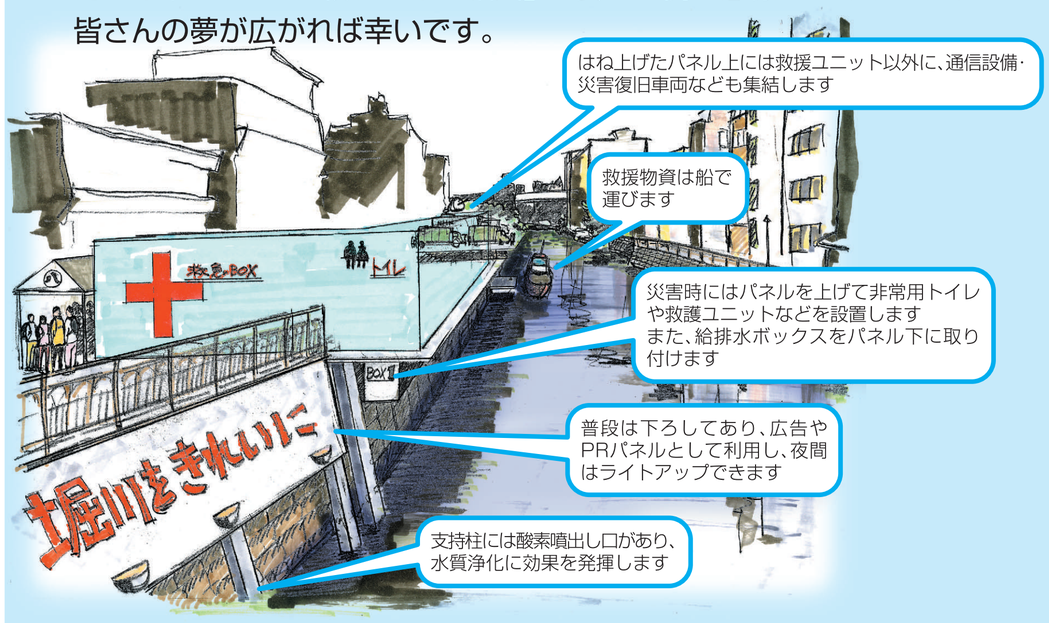
南区道徳本町の浸水

堀川の未来

堀川を防災拠点に「きれいで、頼りになる堀川」整備の提案

気候変動や東海大地震の発生が叫ばれる中、今後も堀川の防災機能が強化されていくことは間違いありません。反面、市内に降った雨をすぐに堀川に流すのでは、「きれいな堀川」の実現は困難です。そこで現在、市内各所に雨水の一時貯留槽が建設されていることは、すでにご紹介しました。

近い将来、水質浄化が達成されつつ、防災拠点としても堀川は整備されるでしょう。

そんな「きれいで、頼りになる堀川」の姿の一例を想像してみました。

皆さんの夢が広がれば幸いです。